

第2章 既往資料による地域及び公共交通の概要

2-1. 地域及び公共交通の概要

(1)位置

本町は、北海道北部の宗谷総合振興局管内の南端に位置し、北緯 45 度線上にあります。隣接する町村は、北が豊富町と猿払村、東は浜頓別町と中頓別町、南は中川町と天塩町に接し、西は日本海に面しています。



図 幌延町の位置

(2) 気象

気候は、夏は涼しく 8 月の平均気温は 19.4℃です。冬は北西の季節風が強く乾燥寒冷で 1 月と 2 月の平均気温はマイナス 6.1℃です。最大積雪深は、2 月の 88 cm です。

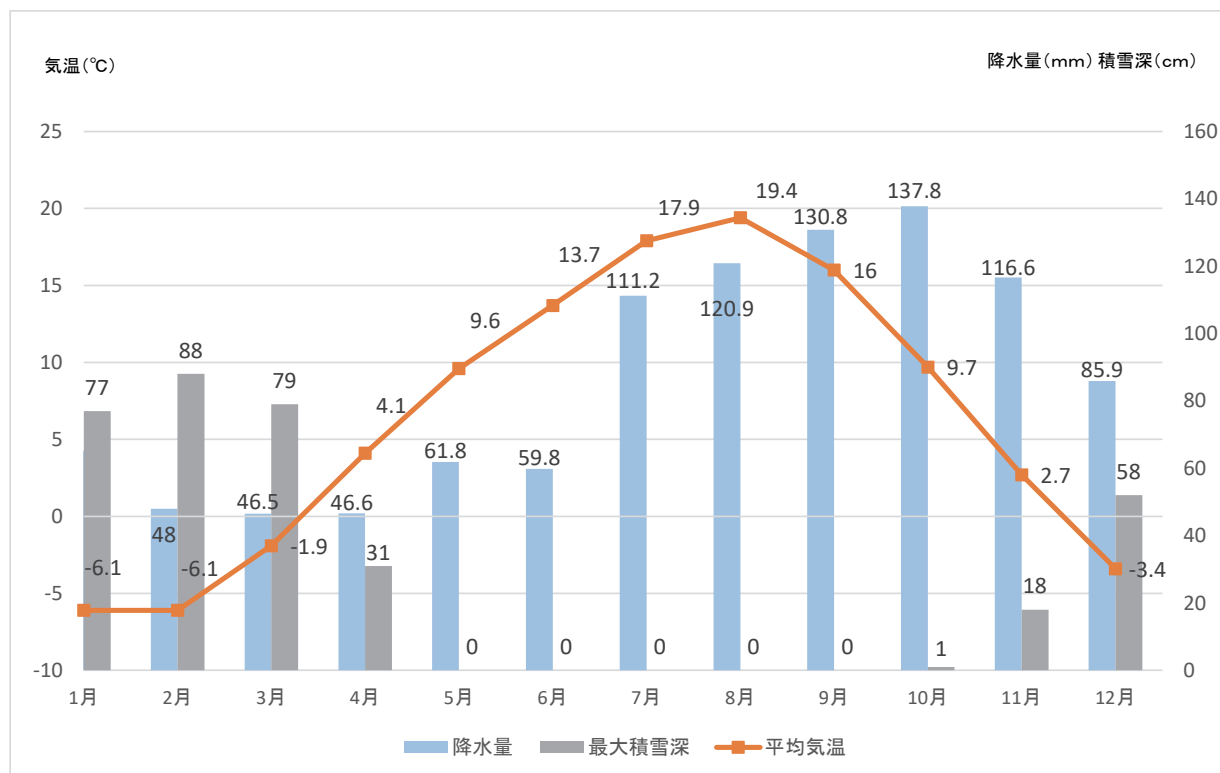


図 気温、降水量及び最深積雪の平年値状況 (1991 (H3) ~2020 (R2))

資料：気象庁（観測地点：豊富町）

(3)人口の推移・推計

人口は1960（昭和35）年の7,438人をピークに減少傾向となっています。2020（令和2）年度国勢調査ではピーク時の31.9%にあたる2,371人となっています。

今後も減少傾向は続き2040（令和22）年では2020（令和2）年の64%にあたる1,517人になると推測されています。

また、少子高齢化がさらに進行し、2040（令和22）年の高齢化率は34.8%と予測されていますが、全道平均と比較すると6.1ポイント低い状況になっています。

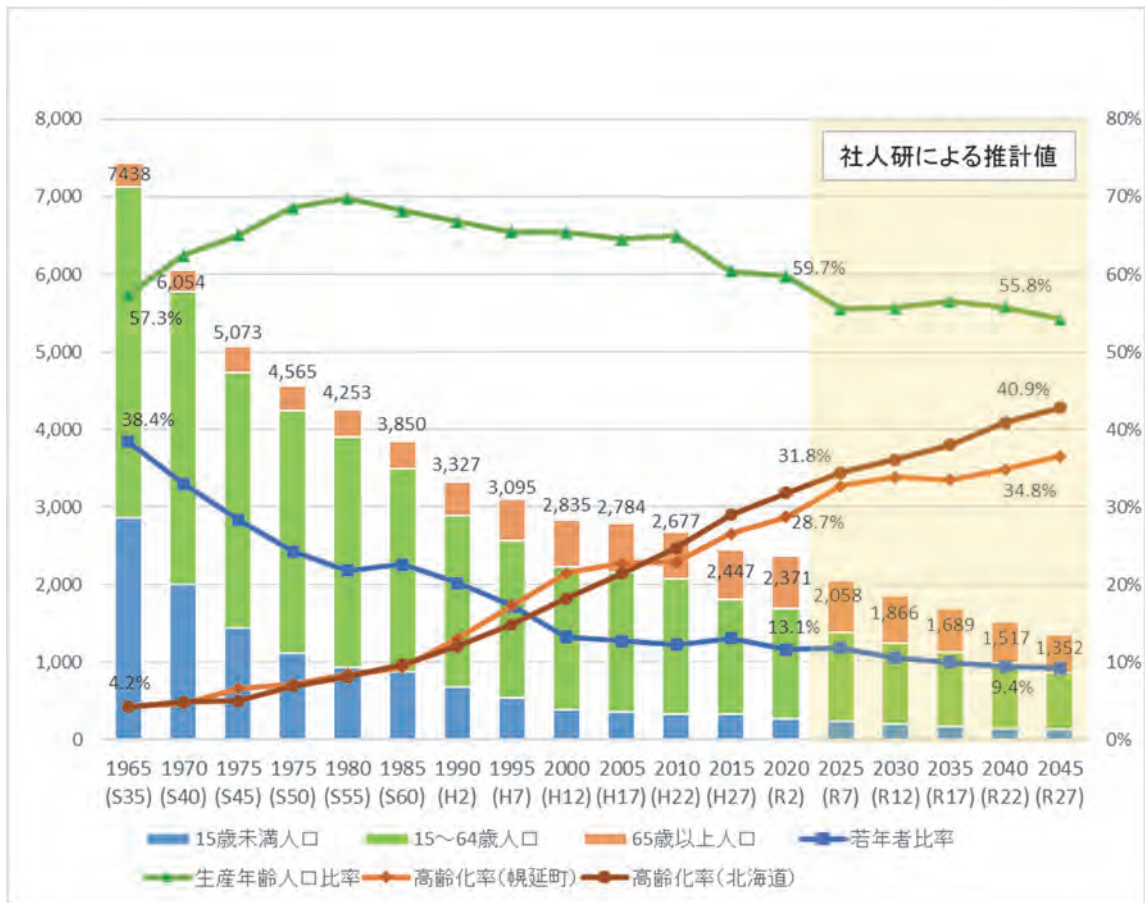


図 人口の推移・推計 資料：1960（S35）～2020（R2）国勢調査
2025（R7）～2045（R27）国立社会保障・人口問題研究所
（以下「社人研」と記す）

(4)人口分布

100人以上の人口分布は栄町（394人）、幌延（337人）、宮園町（252人）、元町（236人）、字問寒別（226人）、一条（218人）及び字幌延（107人）の7箇所です。

まちづくりなど何も対策を講じない場合、2040（令和22）年では100人以上の人口分布がある行政区が5箇所へ減少するとともに、居住のない行政区は1箇所から4箇所へ増加すると予測されています。

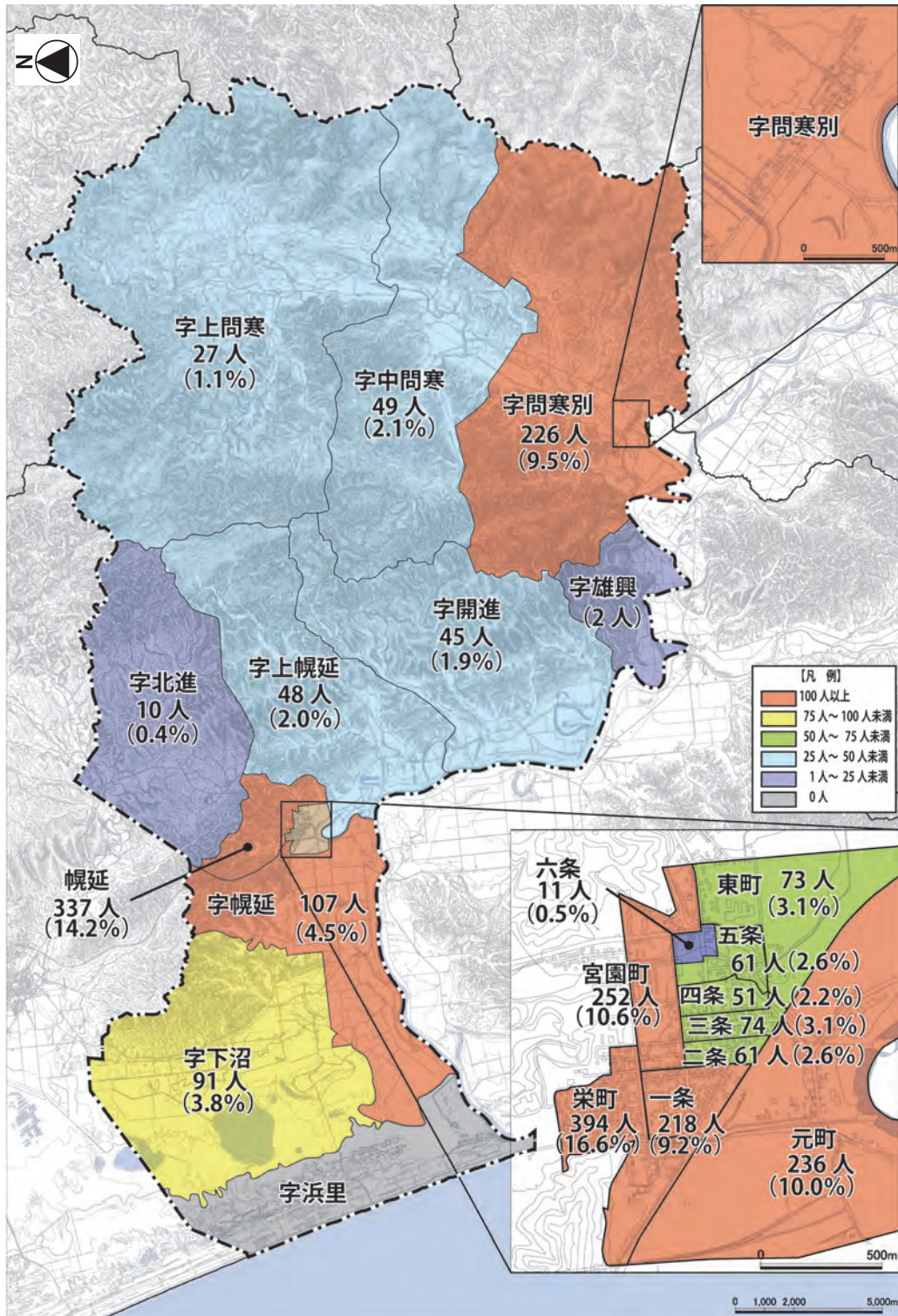


図 行政区別人口分布 2020（令和2）年度国勢調査

※字雄興は2023（令和5）年3月住民基本台帳データを反映

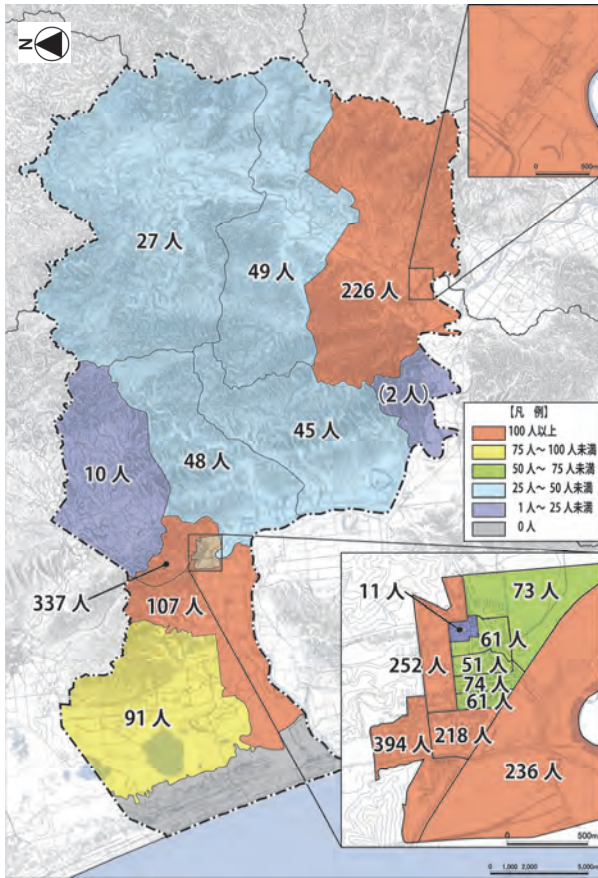


図 2020 (令和 2) 年行政区别人口分布

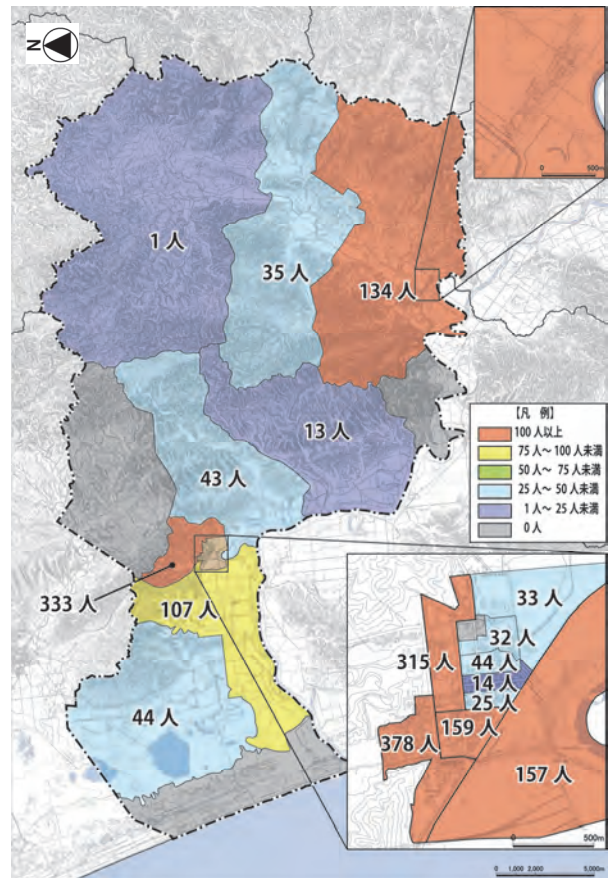


図 2030 (令和 12) 年行政区别人口分布予測

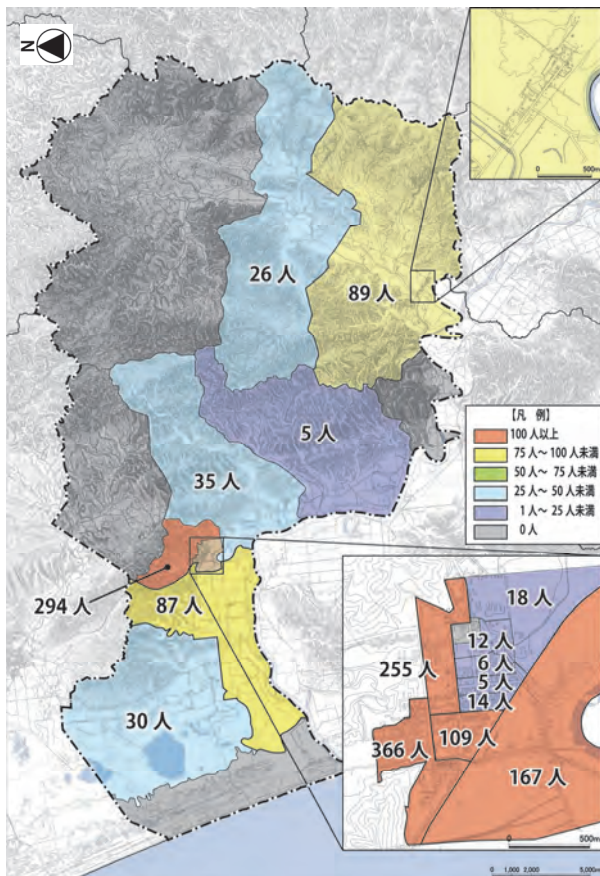


図 2040 (令和 22) 年行政区别人口分布予測

2020 (R2) : 国勢調査
 2030 (R12) : G 空間情報センター
 将来人口・世帯予測ツール V2
 2040 (R22) : 同上

(5) 高齢化率

2020（令和2）年においては、高齢化率が50%以上の行政区はありません。

まちづくりなど何も対策を講じない場合、2040（令和22）年では高齢化率が50%以上の行政区は6箇所になると予測されています。

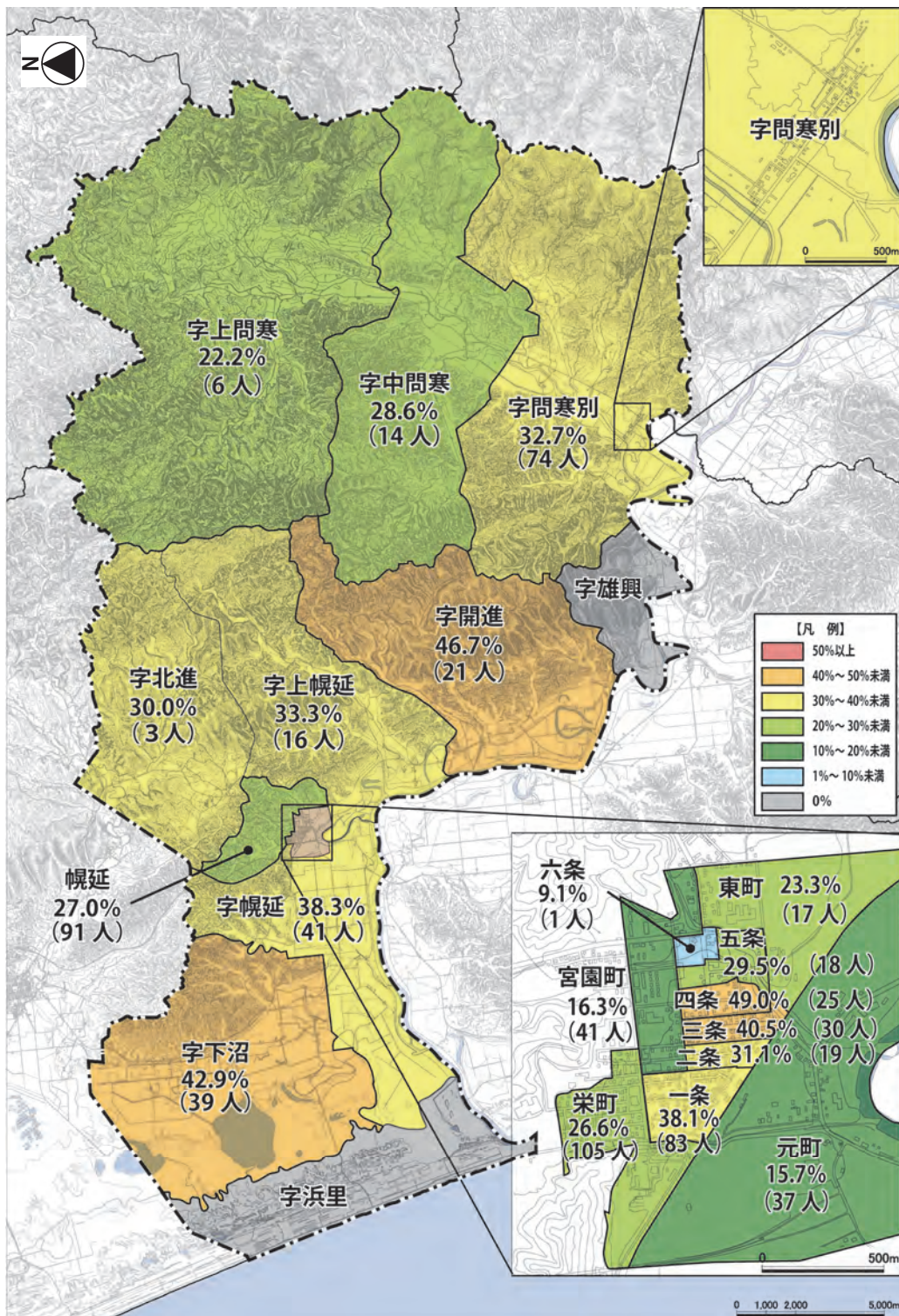


図 行政区別高齢化率 2020（令和2）年度国勢調査

※高齢化率：65歳以上の人口の割合

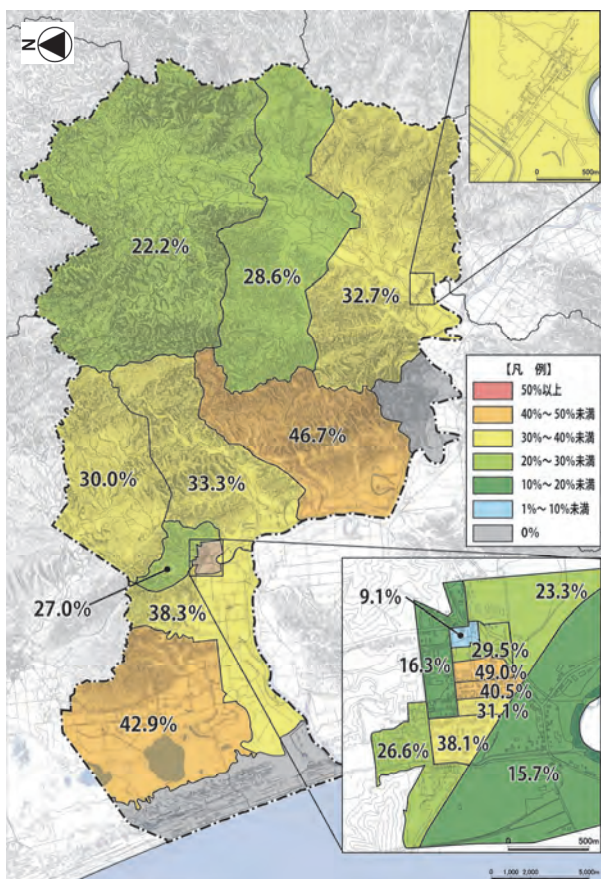


図 2020（令和 2）年行政区別高齢化率

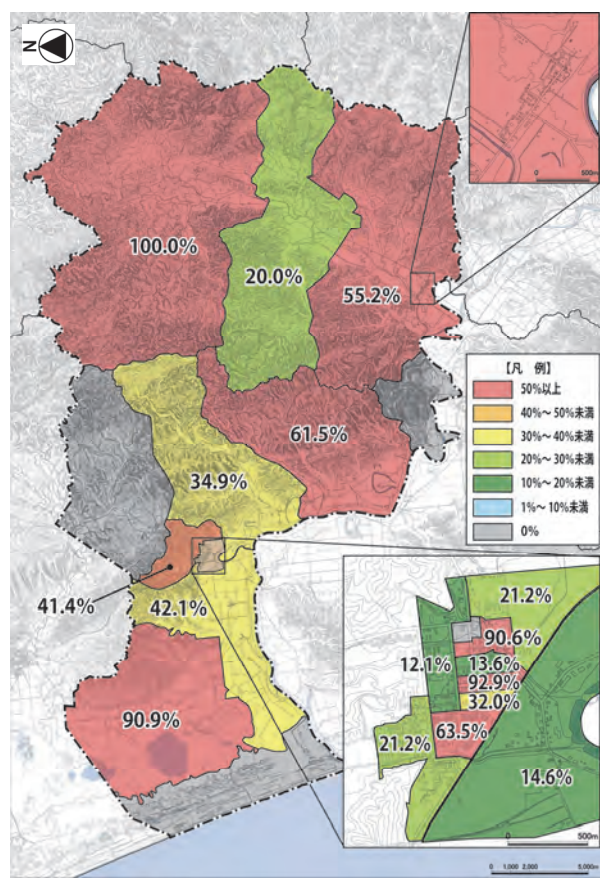


図 2030（令和 12）年行政区別高齢化率予測

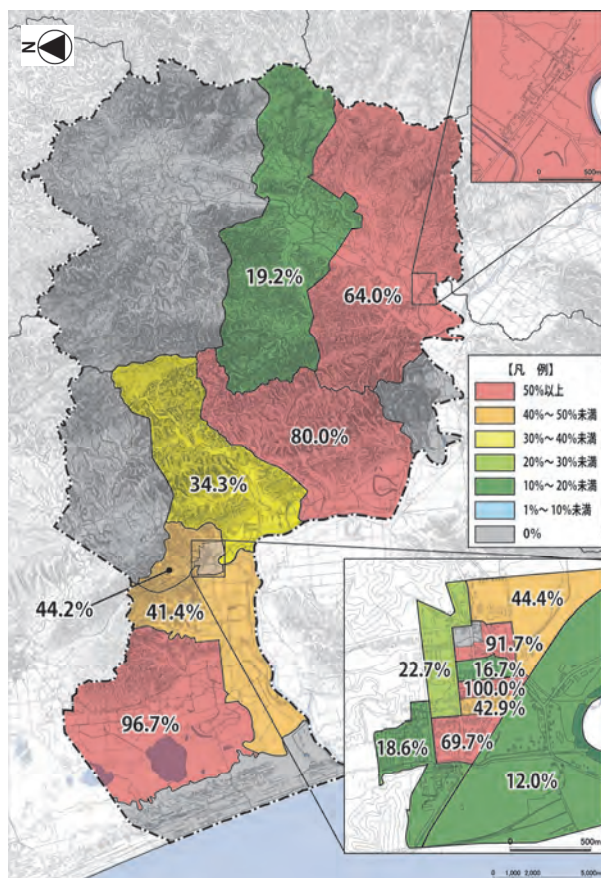


図 2040（令和 22）年行政区別高齢化率予測

2020（R2）：国勢調査
 2030（R12）：G 空間情報センター
 将来人口・世帯予測ツール V2
 2040（R22）：同上

(6)若年者比率

若年者比率が、15%以上は六条（27.3%）、字北進（20.0%）、宮園町（19.0%）及び二条（16.4%）の4箇所あります。

まちづくりなど何も対策を講じない場合、2040（令和22）年では若年者比率が15%以上の行政区は1箇所に減少するものと予測されています。

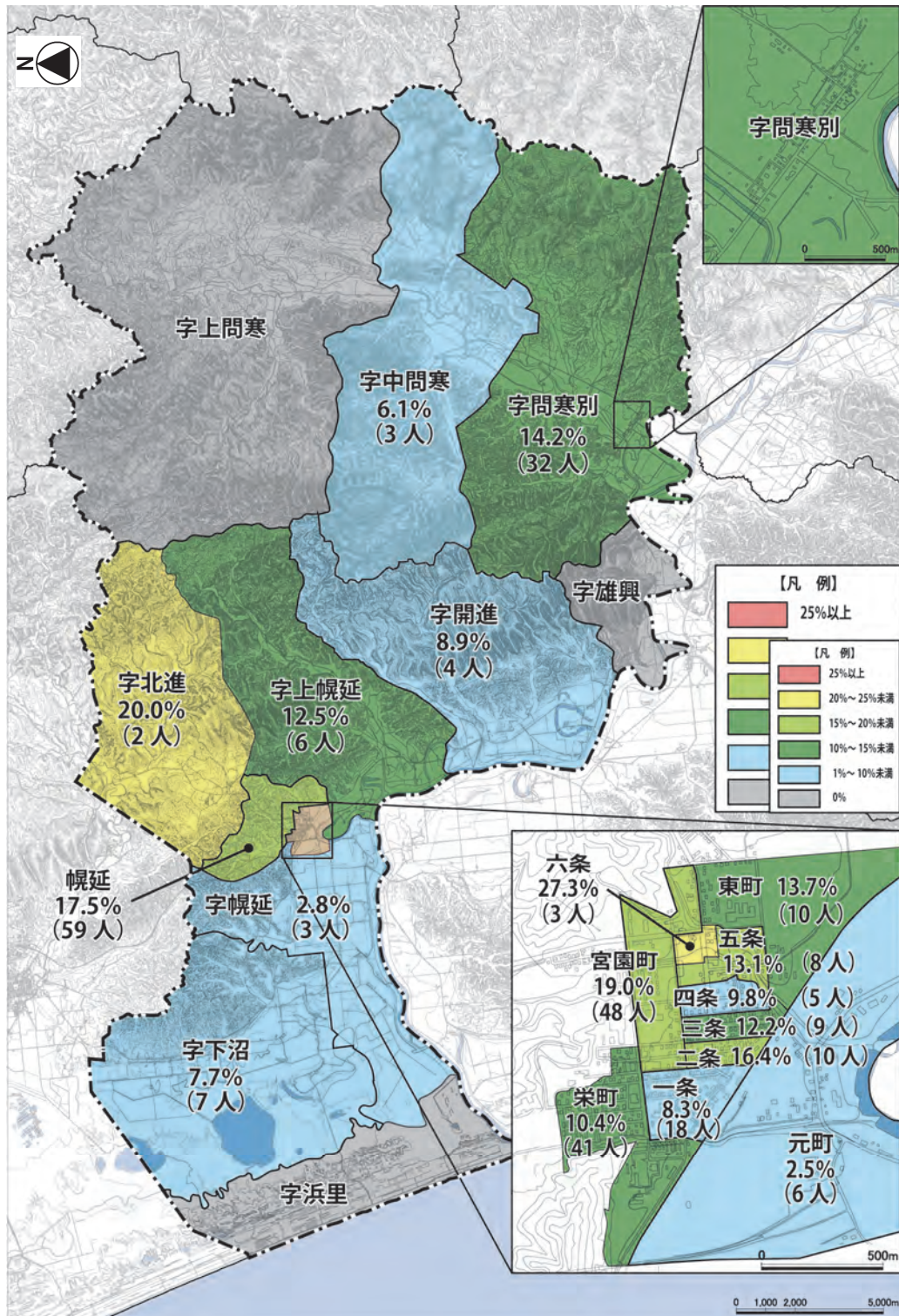


図 行政区別若年者比率 2020（令和2）年度国勢調査

※若年者比率：14歳以下の人口の割合

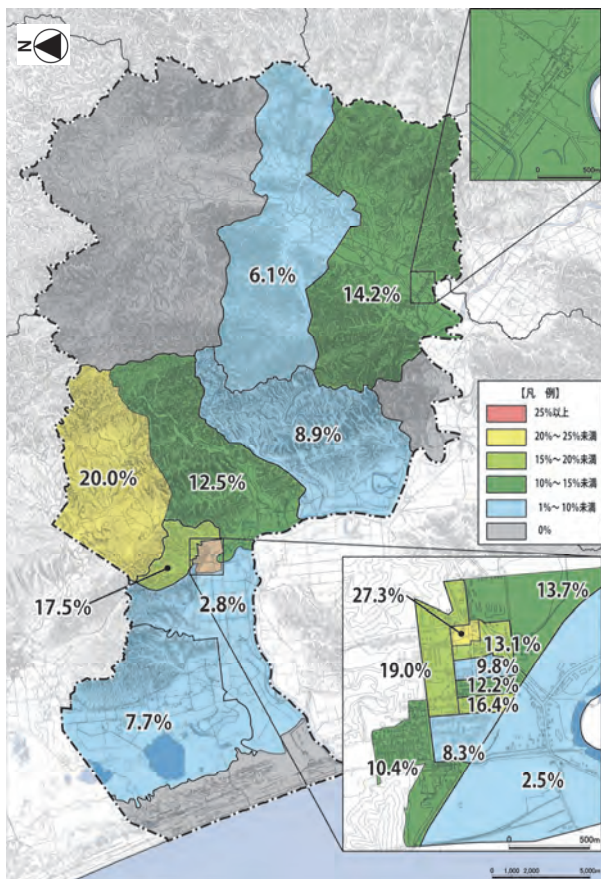


図 2020 (令和 2) 年行政区別若年者比率

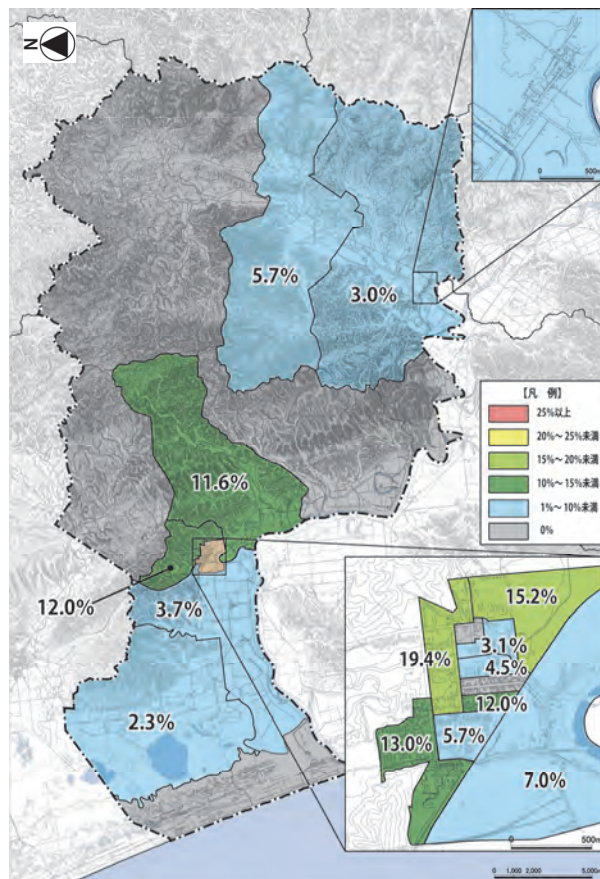


図 2030 (令和 12) 年行政区別若年者比率予測

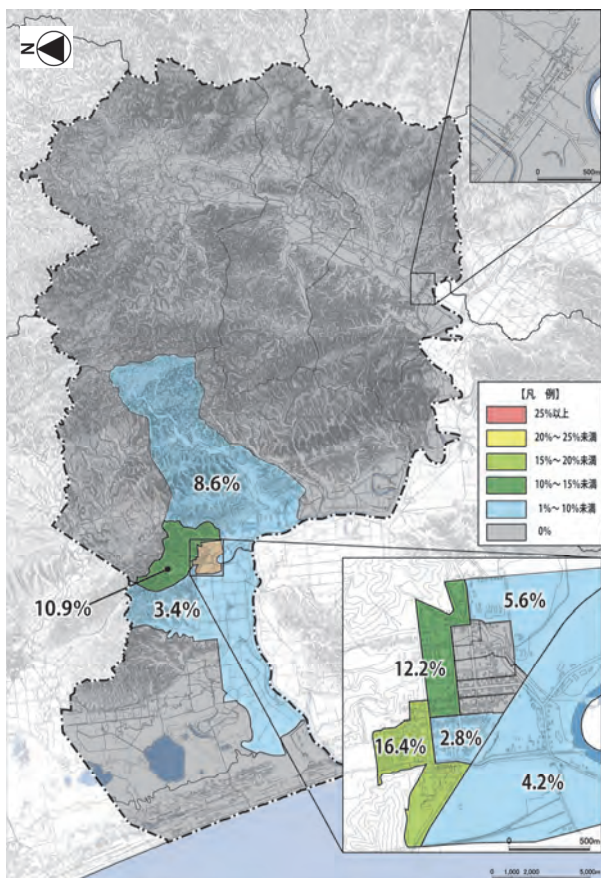


図 2040 (令和 22) 年行政区別若年者比率予測

2020 (R2) : 国勢調査
 2030 (R12) : G 空間情報センター
 将来人口・世帯予測ツール V2
 2040 (R22) : 同上

(7)産業別就業人口

幌延町の基幹産業は酪農を中心とした「第1次産業」ですが、2015（平成27）年から2020（令和2）年にかけて「建設業」の増加により、「第2次産業」の割合が増えています。産業別の割合を見ると、「第3次産業」が最も多く、全体に占める割合が大きい「第3次産業」ですが、減少傾向にあります。「第3次産業」は、「医療・福祉」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「卸売業、小売業」の就業者が多くなっています。

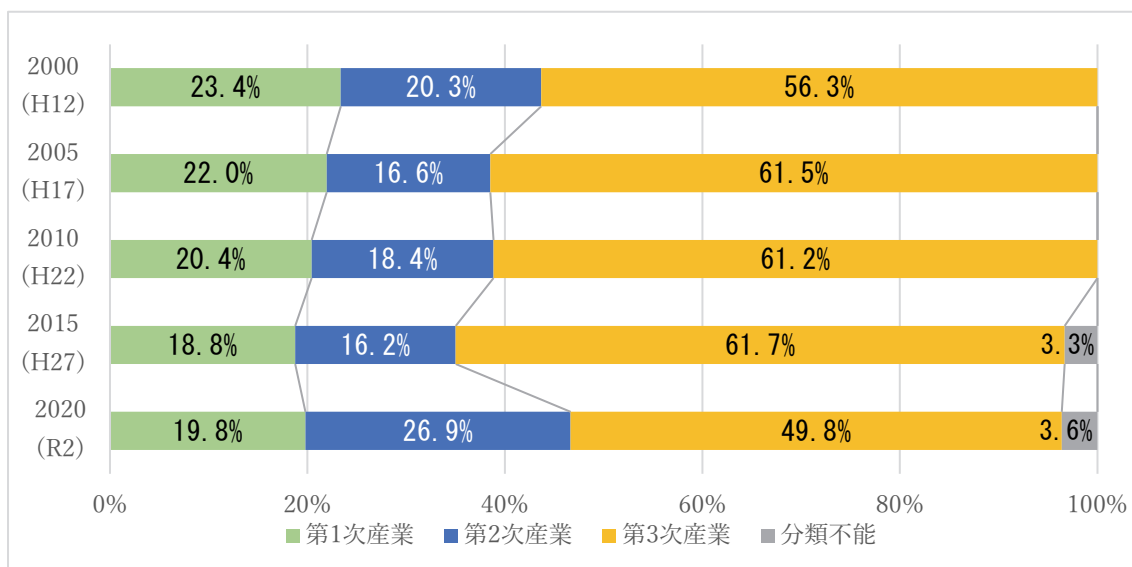


図 産業別人口の推移

資料：国勢調査

(8)近隣市町村間の移動状況(通勤・通学)

従業地は、「天塩町」の37人と、「豊富町」の36人がほとんどを占めます。本町を就業地とする方は、「豊富町」が86人と最も多く、「天塩町」が50人となっています。

15歳以上の方の通学先は「天塩町」が27人と、ほとんどを占めます。

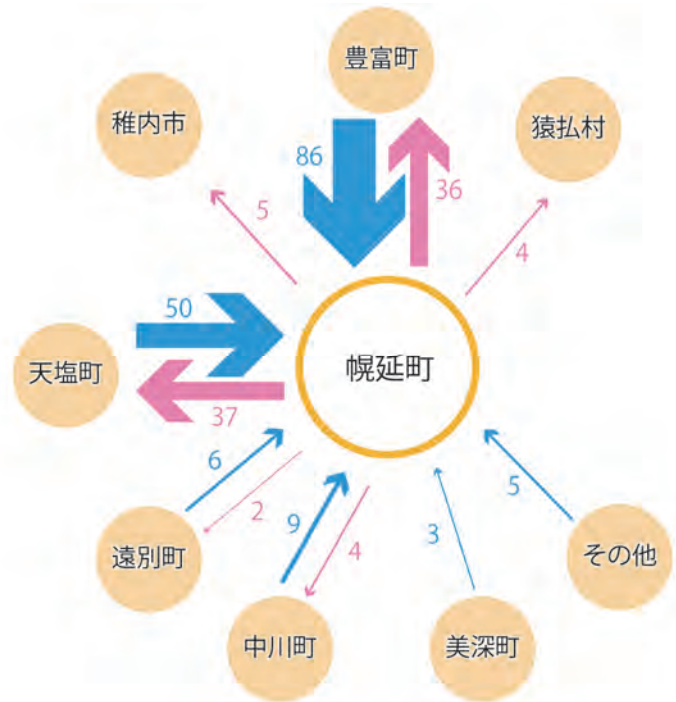


図 近隣市町村等への通勤状況

資料：2020（令和2）年度国勢調査



図 近隣市町村等への通学状況（15歳以上）

資料：2020（令和2）年度国勢調査

(9)自家用車の状況

①乗用車保有台数

乗用車の保有台数は、2017（平成 29）年以降において、約 1,400 台で推移し大きな変化はみられません。一方、乗用車保有率の上昇は鈍化しつつあります。

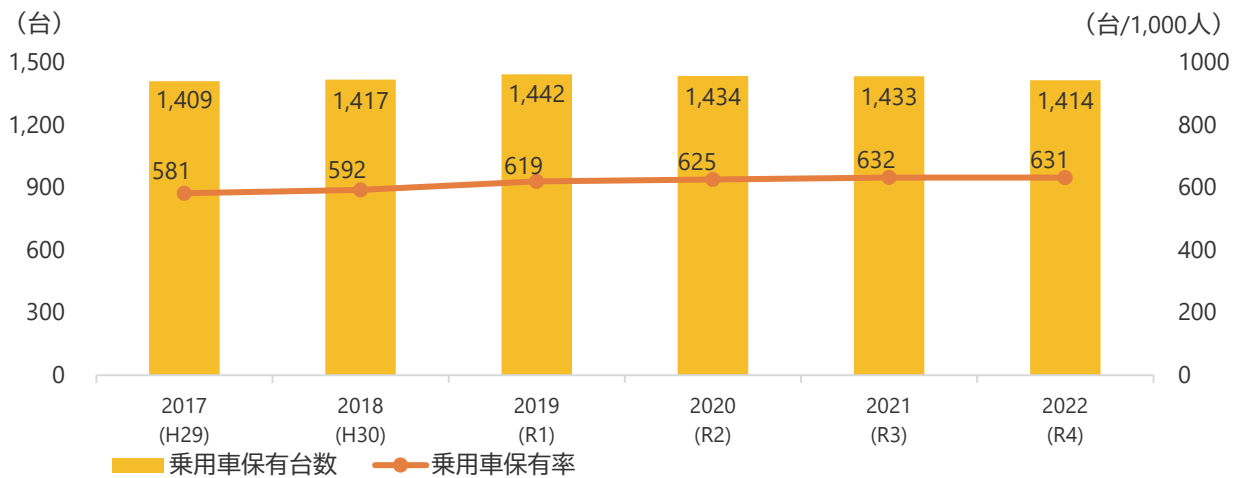


図 乗用車保有台数及び乗用車保有率推移

資料：各年北海道自動車統計（普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車の合計）
（市町村別軽自動車車両数）：（一社）全国軽自動車協会連合会

②運転免許自主返納者

運転免許自主返納者は、2019（令和元）年度と2020（令和2）年度が「7人」となっていますが、2021（令和3）年度以降はひと桁台で推移しています。

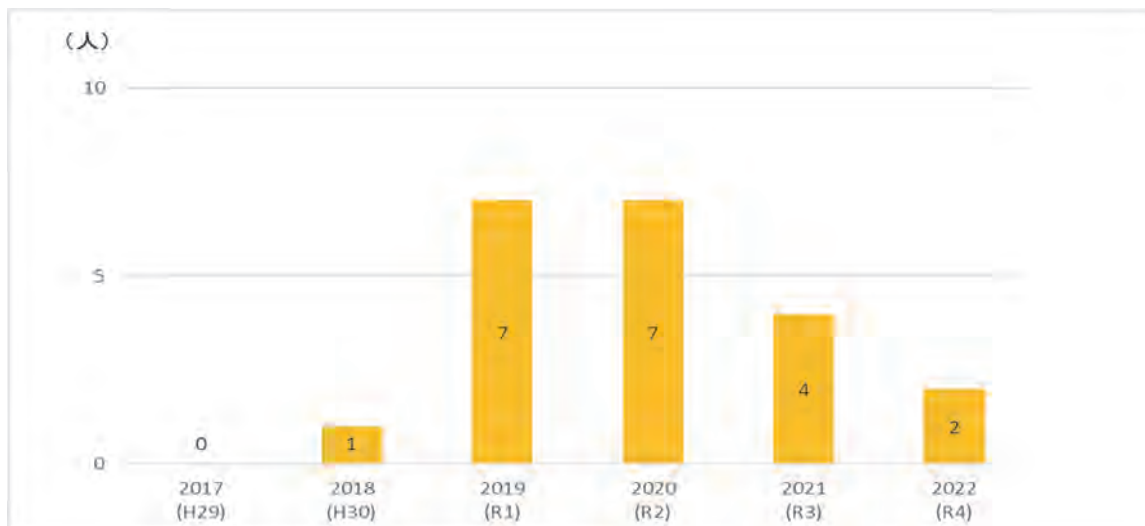


図 幌延町内における運転免許自主返納者推移

資料：天塩警察署

(10)道路網

主要な道路は、本町の西部を南北に貫く国道40号が稚内・旭川方面にアクセスしているとともに、国道40号幌富バイパスが稚内方面の高規格幹線道路として整備されています。また、国道232号は本町と苫前町を結んでいます。

その他、主要道道3路線、一般道道8路線により町内の主要道路網が形づくられています。

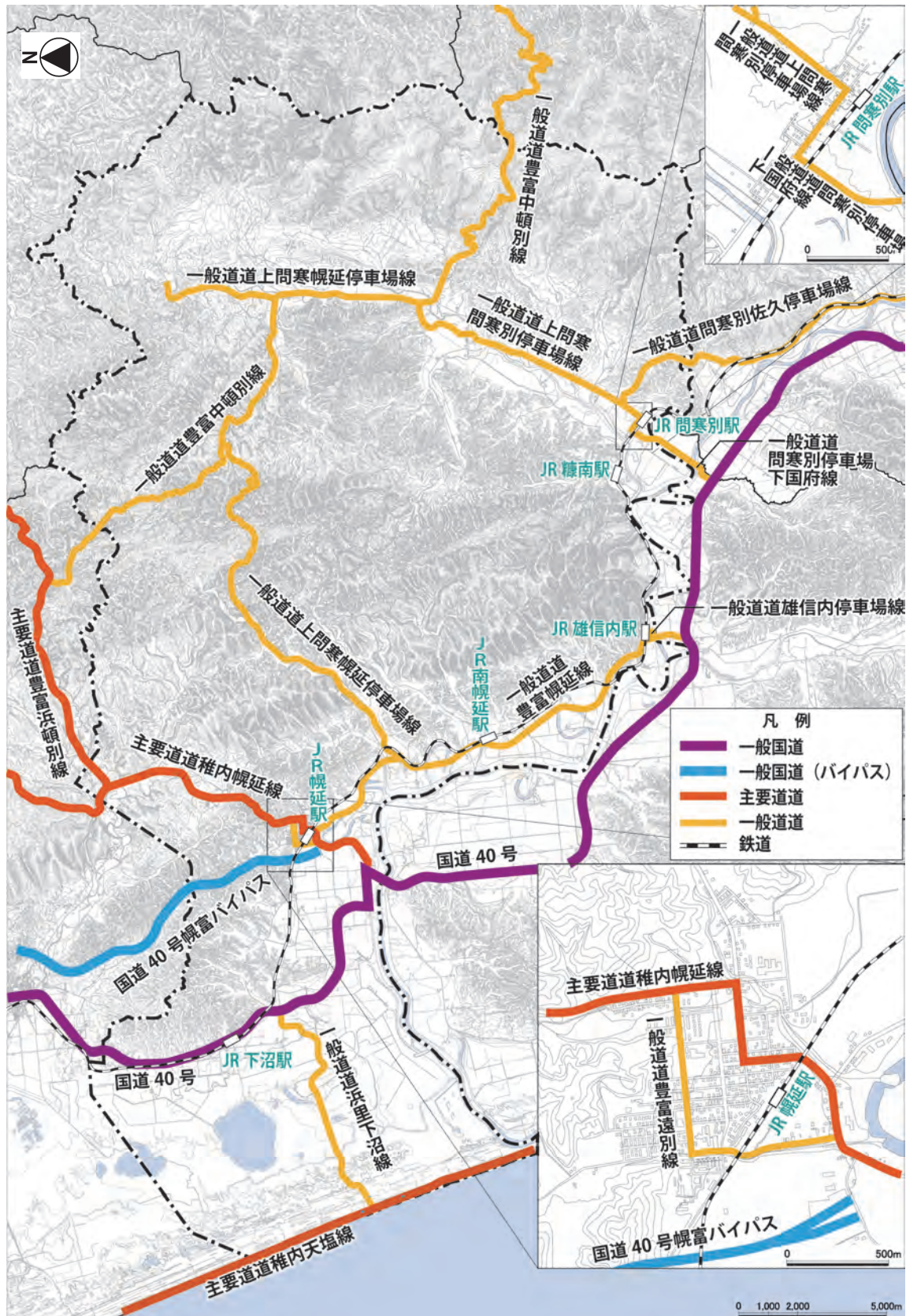


図 主要道路網図 (R5.4.1 現在)

(11)主な施設

①医療施設

幌延市街地には「幌延町国民健康保険診療所」と「幌延町立歯科診療所」、問寒別地区には「問寒別国民健康保険診療所」があります。

②福祉施設

幌延市街地には「幌延町老人福祉センター」、「特別養護老人ホームこざくら荘」及び「障害者支援施設幌延町立北星園」があります。

③教育施設

幌延市街地には「幌延町立幌延小学校」と「幌延町立幌延中学校」及び「幌延町認定こども園」が配置されています。問寒別地区には「幌延町立問寒別小中学校」と「問寒別へき地保育所」があります。

④公営住宅

幌延市街地には3箇所、問寒別地区には1箇所あります。

⑤行政施設

幌延市街地には「幌延町役場」、問寒別地区には「幌延町問寒別出張所」があります。

⑥観光施設

本町には、「トナカイ観光牧場」、「幌延ビジターセンター（利尻礼文サロベツ国立公園）」、「金田心象書道美術館」、「オントレイ風力発電所の風車群」、幌延深地層研究センター「ゆめ地創館」及び本町総面積の約4割を占める「北海道大学天塩研究林」などがあります。

本町の観光入込客数は、2012（平成24）年から2019（令和元）年までは年平均108.0千人で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により2020（令和2）年は61.8千人、2021（令和3）年は56.9千人と大きく減少しています。

宿泊客数は、2012（平成24）年から2019（令和元）年までは年平均21.9千人で推移していましたが、観光入込客数と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020（令和2）年は7.2千人、2021（令和3）年は6.5千人と大きく減少しています。

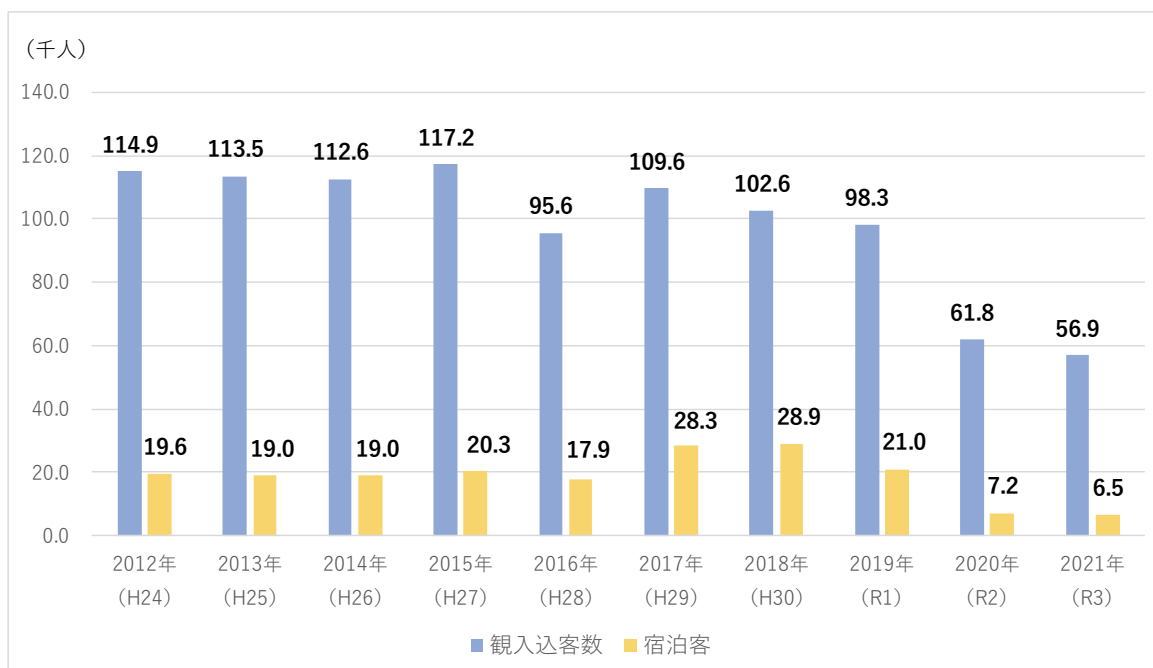


図 幌延町観光入込客数・宿泊客推移 資料：北海道観光入込客数報告書

⑦その他

金融機関は幌延市街地に「幌延郵便局」、「幌延町農業協同組合本所」及び「稚内信用金庫幌延支店」、問寒別地区には「問寒別郵便局」及び「幌延町農業協同組合本所問寒別支所」があります。その他、幌延市街地にスーパーマーケット、コンビニエンスストア、個人商店などがまとまって立地しています。

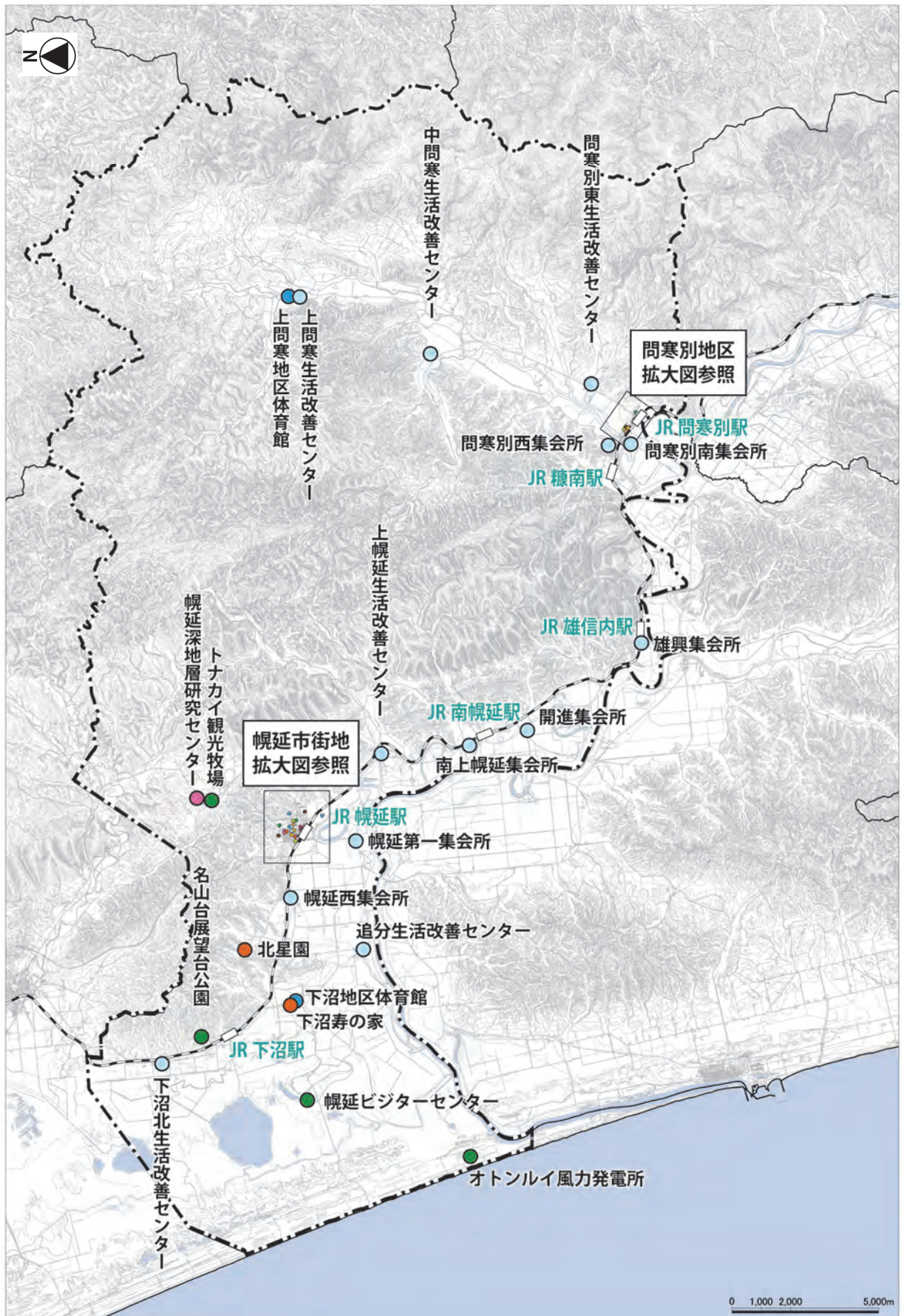


図 公共・公益・利便施設分布（広域） R5.4.1 現在



図 公共・公益・利便施設分布（幌延市街地） R5.4.1 現在



図 公共・公益・利便施設分布（問寒別地区）（R5.4.1 現在）

凡 例



2-2. 公共交通等の実態

(1) 鉄道

鉄道はJR宗谷本線が運行しており、特急停車駅の「幌延駅」のほか、普通列車のみが停車する「下沼駅」、「南幌延駅」、「雄信内駅」、「糠南駅」及び「問寒別駅」の計6駅があります。駅周辺にまとまった市街地が形成されている駅は「幌延駅」と「糠南駅」となっています。

幌延駅に停車する便数は、特急が「特急サロベツ（旭川－稚内間）」と「特急宗谷（札幌－稚内間）」で平日が2便、休日は3便となります。普通列車は稚内方面、名寄・旭川方面ともに平日が2便、休日は3便が運行しています。

幌延駅の乗降客数は、2015（平成27）年度に102人/日となり、2020（令和2）年度以降は特急列車の減便や新型コロナウイルス感染症の影響もあり大きく減少しています。

また、2016（平成28）年にJR宗谷本線はJR北海道より、輸送密度200人/日～2,000人/日未満の「JR北海道が単独では維持することが困難な線区」（通称：黄線区）とされています。黄線区は単独維持が困難であるため、沿線自治体と協力しながら鉄道存続の道を探る位置づけとなっています。

表 幌延駅の停車状況（R5.4.1）

平日	稚内方面	名寄・旭川方面	備考
普通列車	3	3	—
特急列車	2	2	旭川直通1便・札幌直通1便

休日	稚内方面	名寄・旭川方面	備考
普通列車	3	3	—
特急列車	3	3	旭川直通2便・札幌直通1便

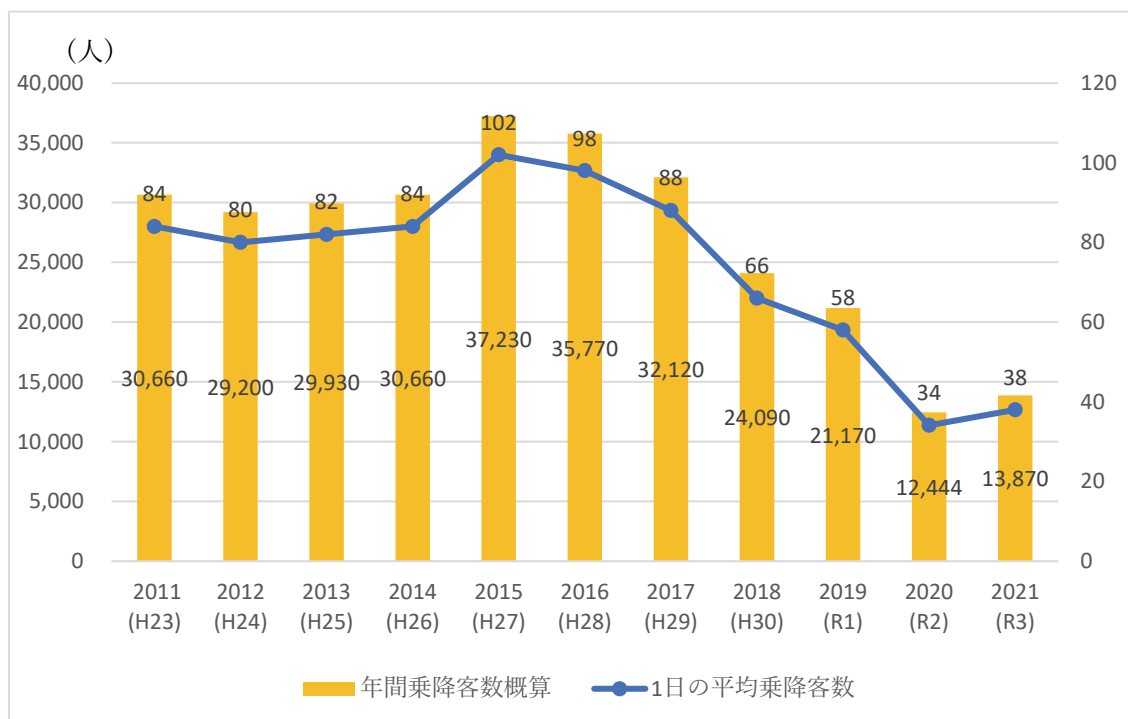


図 JR 幌延駅乗降客数推移

資料：国土数値情報（H23～H28） JR北海道（H29～R3）

(2)路線バス

①バス路線

高速バスは「特急はぼろ号」が札幌－豊富間を運行し、本町には停留所が2箇所設置されています。

国及び北海道が支援する地域間幹線系統は「幌延留萌線」、市町村が支援する市町村単独補助路線は「豊富幌延線」と「豊富羽幌線」が運行しています。

②輸送人数

「特急はぼろ号」は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2020（令和2）年度は26,240人まで減少しましたが、2022（令和4）年度では52,198人まで回復しました。

地域幹線系統である「幌延留萌線」は、2021（令和3）年度に141,056人と前年度をやや上回りましたが、2022（令和4）年度では122,917人と減少しています。

「豊富幌延線」は、2019（令和元）年度から旧豊富留萌線から市町村単独補助路線として分離したバス路線です。2022（令和4）年度は9,210人となっています。

「豊富羽幌線」は、2021（令和3）年度の16,262人まで減少しましたが、2022（令和4）年度は18,679人とやや増加しています。

「旧豊富留萌線」は、減少が続いたため、2020（令和2）年から幌延留萌線や豊富幌延線と分離・統合しました。

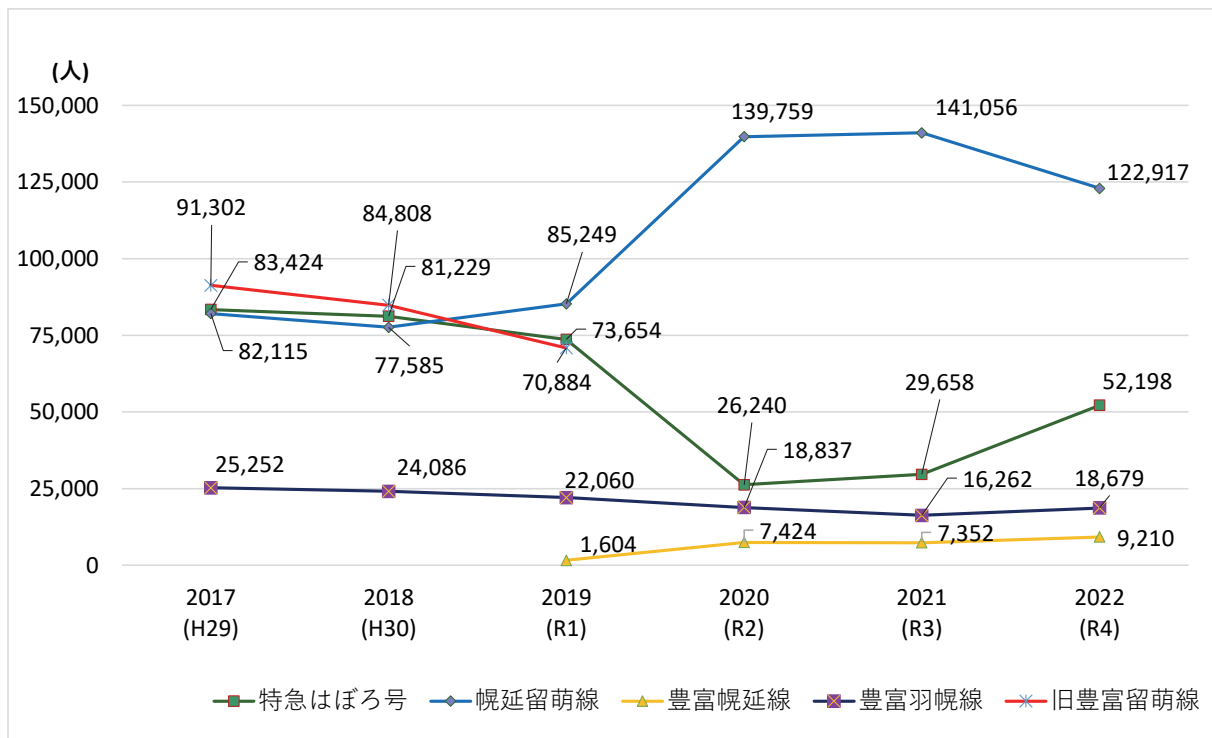


図 各バス路線の輸送人数の推移

資料：沿岸バス 幌延町

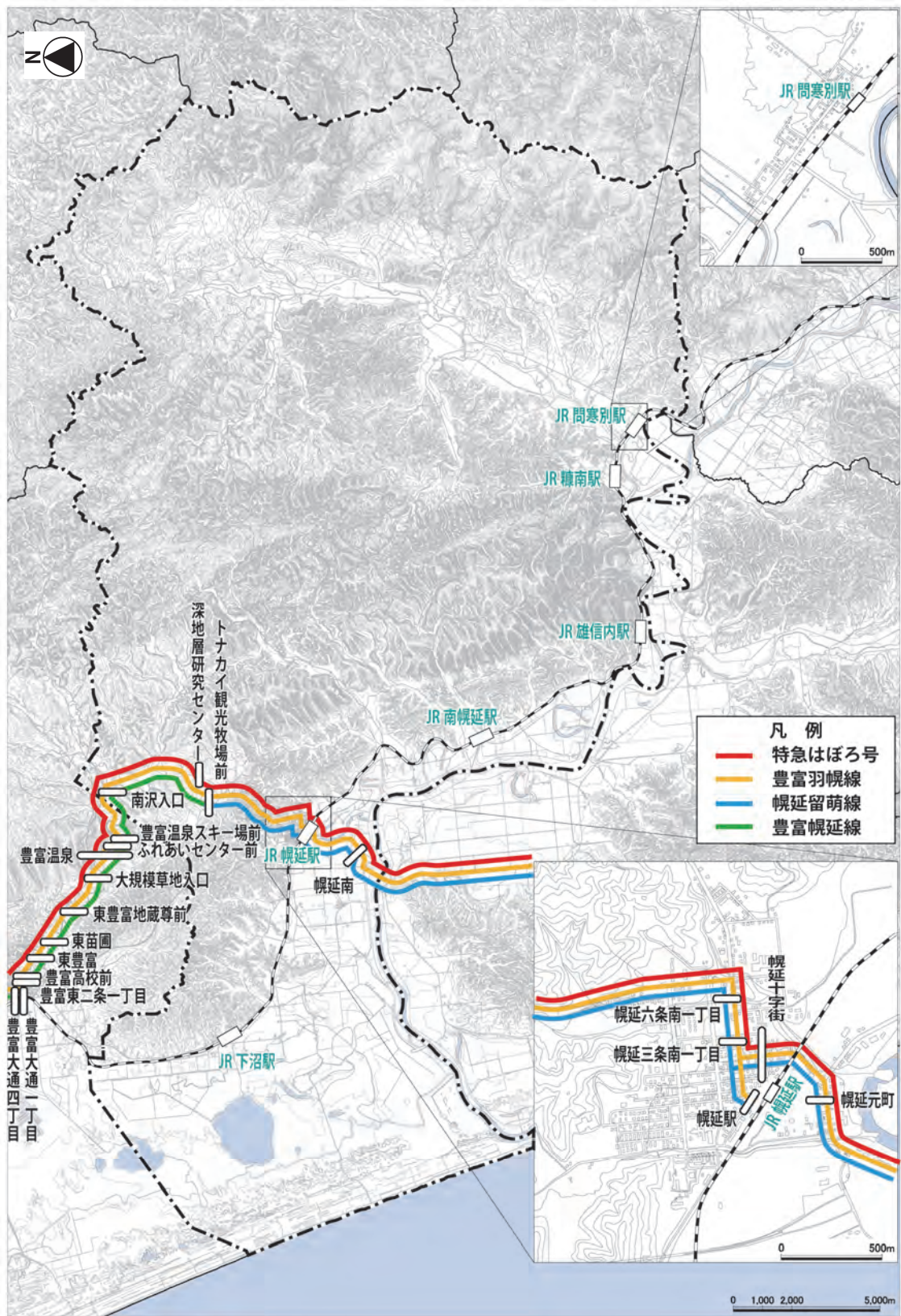


図 幌延町のバス路線図 (R5.4.1 現在)

③収支状況

2022（令和4）年度の収支状況は、本町を運行する路線バスの運行費用総額は、4.35億円で、運行収入は6,117万円です。国及び北海道の補助金は3,584万円、幌延町の補助金は1,169万円、その他市町村の補助金が9,846万円です。バス事業者の負担額は7,303万円です。

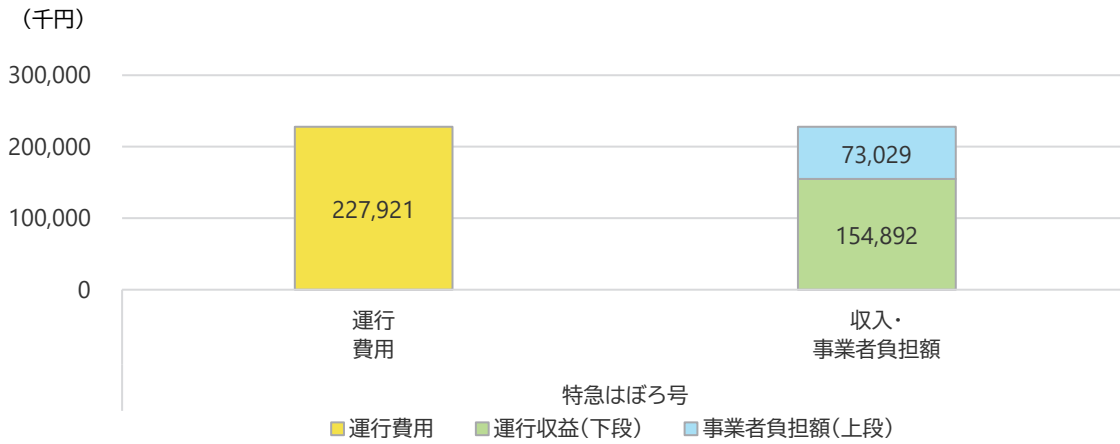


図 2022（令和4）年度 特急はぼろ号収支状況

資料：沿岸バス

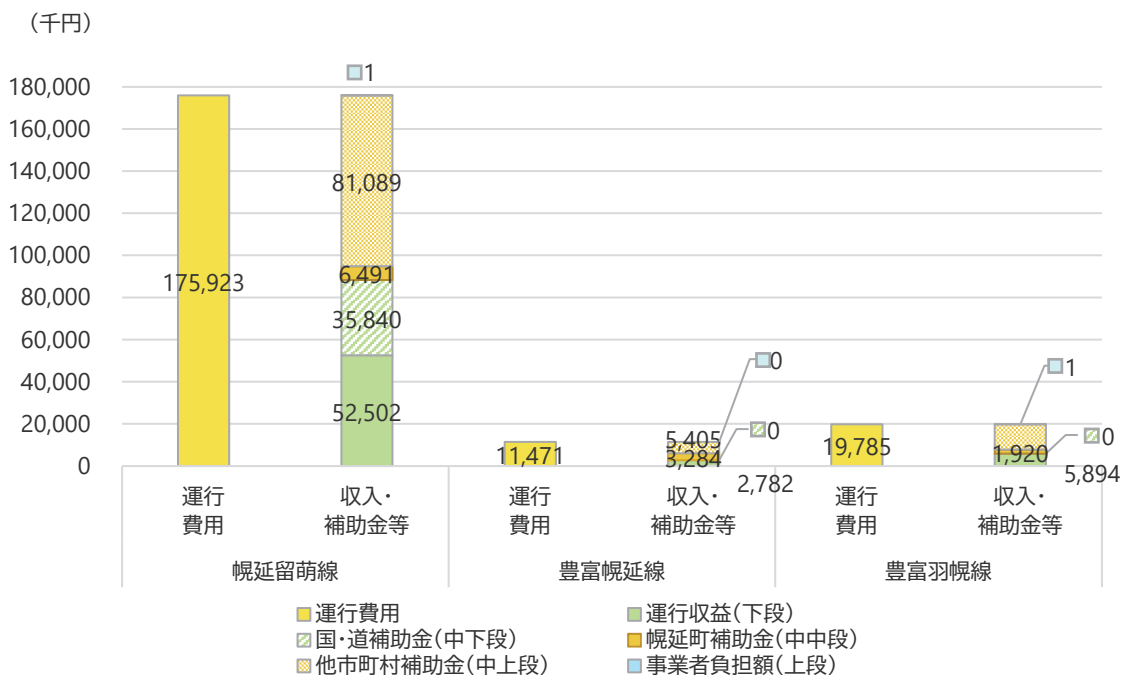


図 2022（令和4）年度 その他路線バス収支状況

資料：沿岸バス

④バス運転手の年齢構成

沿岸バス運転手の年齢構成は、50歳代以上が72.2%となっており、今後のノウハウの継承や安定的な路線の維持・確保の面で、特に20歳代～40歳代の運転手不足が懸念されます。

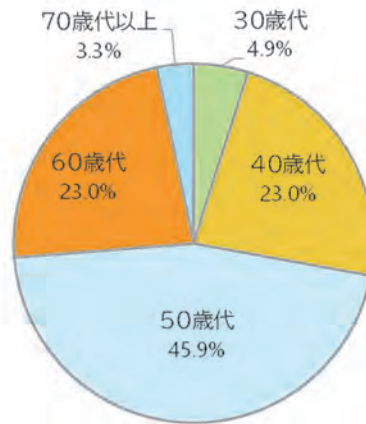


図 バス運転手の年齢構成

資料：沿岸バス

(3)ハイヤー

町内でのハイヤー事業は、天塩ハイヤーが担っています。また、2021（令和3）年10月よりハイヤー運賃等助成制度*を実施しています。

*本町在住の70歳以上の方、70歳未満で運転免許証又は自家用車を保有せず、身体障害者、療育・精神障害者保健福祉手帳・特定受給者証を持っている方、運転免許証を自主返納した方に対してチケットを配布し、ハイヤー運賃の一部助成を行っています。

①利用人数

2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、4,588人まで利用者数の減少が見られましたが、2021（令和3）年度以降はハイヤー運賃等助成制度の導入もあり、2022（令和4）年度は6,614人まで増加しています。

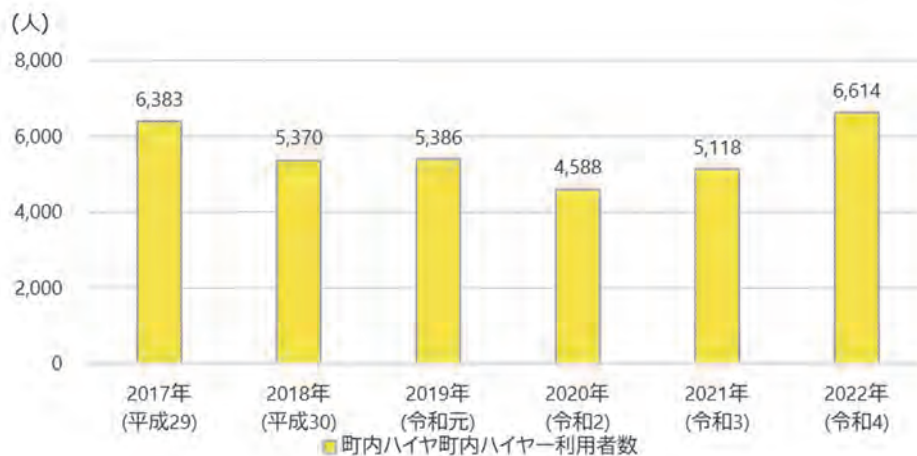


表 町内ハイヤー利用者数の推移

資料：天塩ハイヤー

②ハイヤー運賃等助成制度利用者数

利用者数は、助成制度が導入された2021（令和3）年度が942人/4ヶ月間、2022（令和4）年度は2,435人/年の利用がありました。2022（令和4）年度における登録者1人当たりの利用回数は、平均で9.2回/年となります。



図 ハイヤー運賃等助成制度利用者数推移

資料：幌延町

③車両保有状況

天塩ハイヤーの車両保有状況ですが、普通車のみとなっています。

表 ハイヤー事業者の車両保有内訳 資料：天塩ハイヤー

会社名	普通車	大型車	その他
天塩ハイヤー	3台	0台	0台

④運転手の年齢構成

運転手の年齢構成は、50歳代以上が88%となっており、20歳代の運転手はいるものの、今後のノウハウの継承や安定的な路線の維持・確保の面で、運転手不足が懸念されます。

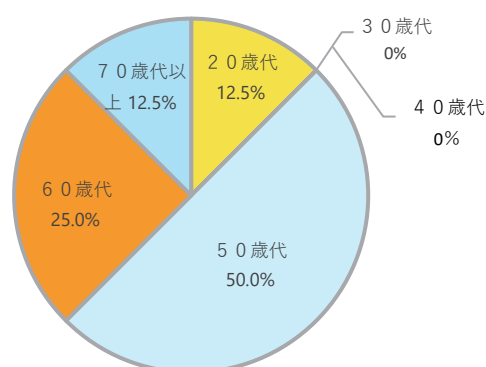


図 ハイヤー運転手の年齢構成

資料：天塩ハイヤー

⑤貨客混載事業

宅配事業の効率化と地域交通インフラの活性化を目的として、2018（平成30）年12月から天塩ハイヤーと佐川急便にて貨客混載事業を展開しています。天塩ハイヤーの業務車両を活用した宅配事業を実施しています。

(4)送迎交通

無償による送迎交通は、デマンド車両、患者輸送車両及びスクールバスが運行しています。

①デマンド車両

デマンド車両は2020（令和2）年12月より実証実験として運行しており、運行日は月曜日・水曜日・金曜日で、利用には前日までの予約が必要となっています。予約に応じて自宅から問寒別地区内や JR 天塩中川駅間を往復で運行しています。

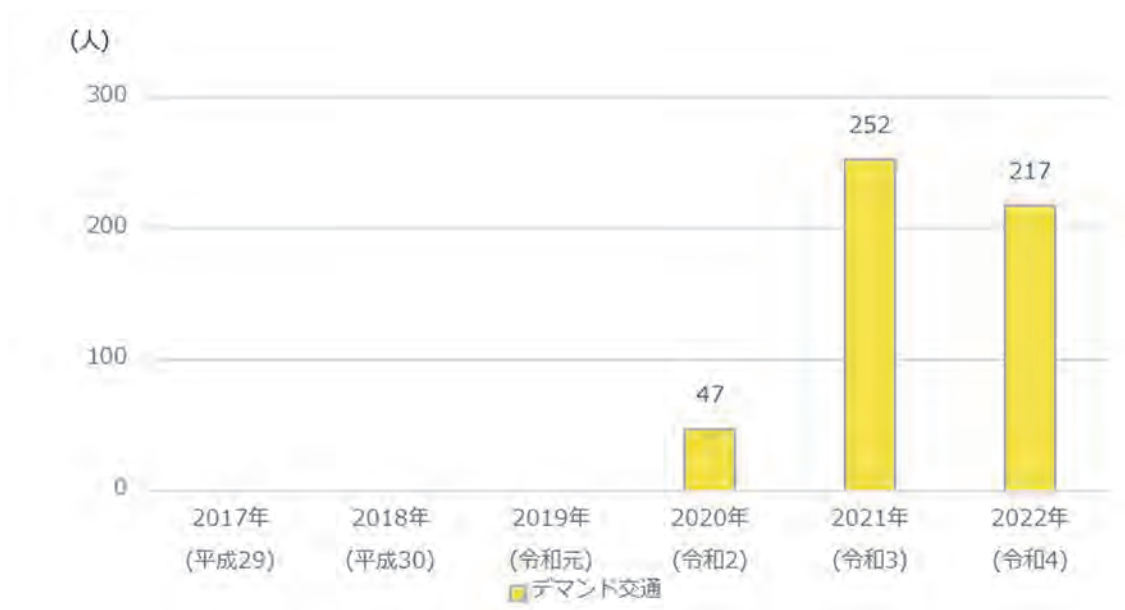


図 デマンド交通利用者数推移

資料：幌延町

表 デマンド交通運行車両

車種	定員	座席数
トヨタ エスクァイア	7	7
トヨタ エスティマ	7	7

資料：幌延町

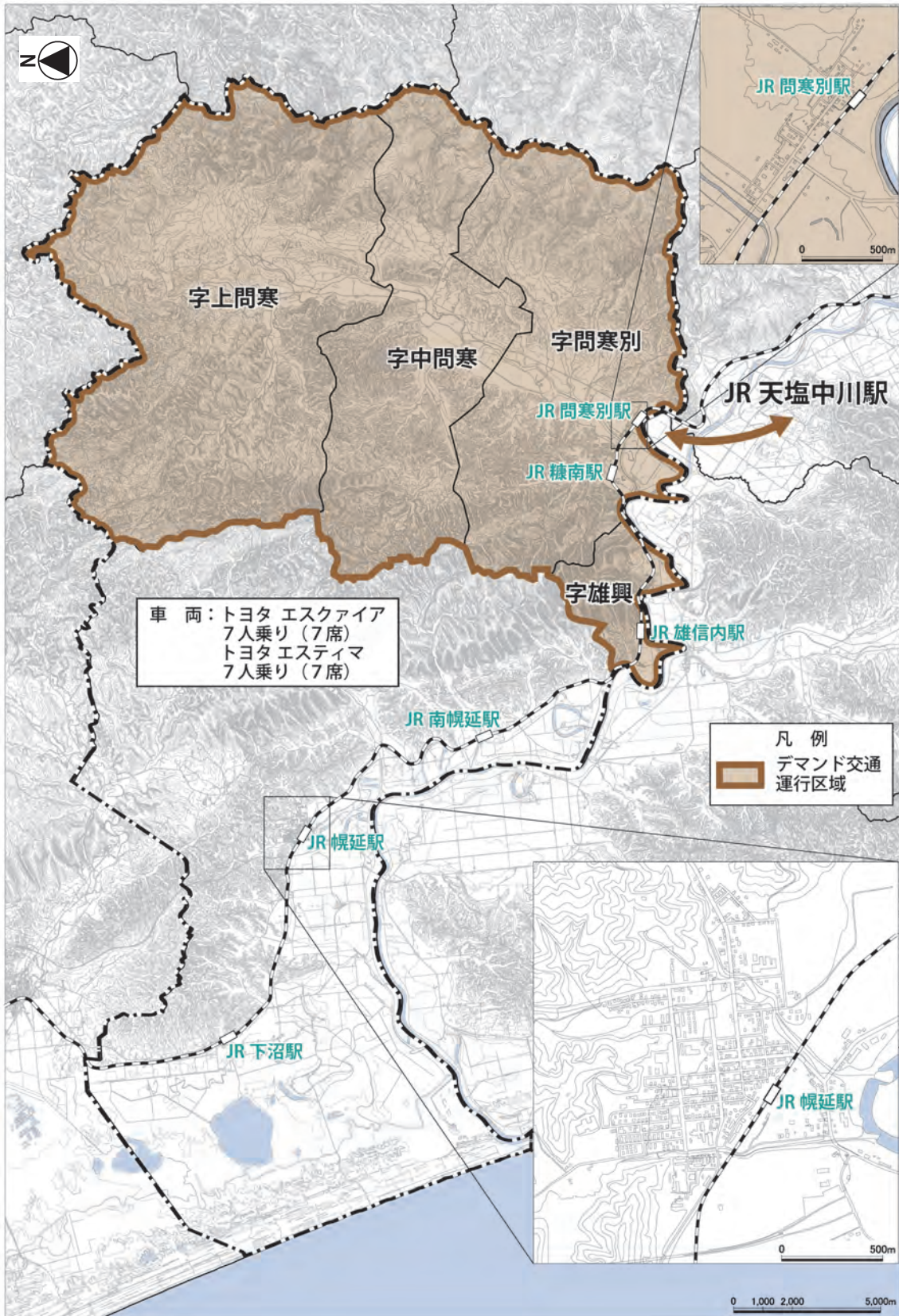


図 デマンド交通運行区域

資料：幌延町

②患者輸送車両

月曜日から土曜日で問寒別地区と幌延市街地の間を1日1往復で連絡しています。この運行に加え、火曜日と金曜日は下沼地区と幌延診療所の間を自宅への直接送迎により1日1往復で連絡しています。利用者推移、車両の車種及び、運行時刻等は以下のとおりです。



図 患者輸送車両利用者数の推移

資料：幌延町

表 患者輸送車両の車種等

車種	定員	座席数
トヨタ ハイエースワゴン ウェルジョイン	10	5

資料：幌延町

表 患者輸送車両運行時刻

(往路:月曜～土曜)

問寒別地区	問寒別地区～幌延市街地	幌延町市街地
8:30～8:35	8:35～9:12	9:12～9:24

(復路:月曜～土曜)

幌延町市街地	幌延市街地～問寒別地区	問寒別地区
11:58～12:10	12:10～12:45	12:45～12:50

(下沼方面往復:火曜・金曜)

幌延診療所～下沼方面
11:00～11:58

資料：幌延町



図 患者輸送車両運行図

資料：幌延町

③スクールバス

幌延地区スクールバスは、月曜日から金曜日の登校時にそれぞれ1便運行しています。問寒別地区スクールバスは、月曜日から土曜日の登校時にそれぞれ1便運行しておりそれに加え、こぎくら号が登校便と並行して1往復しています。



図 スクールバス一般利用者数推移

資料：幌延町

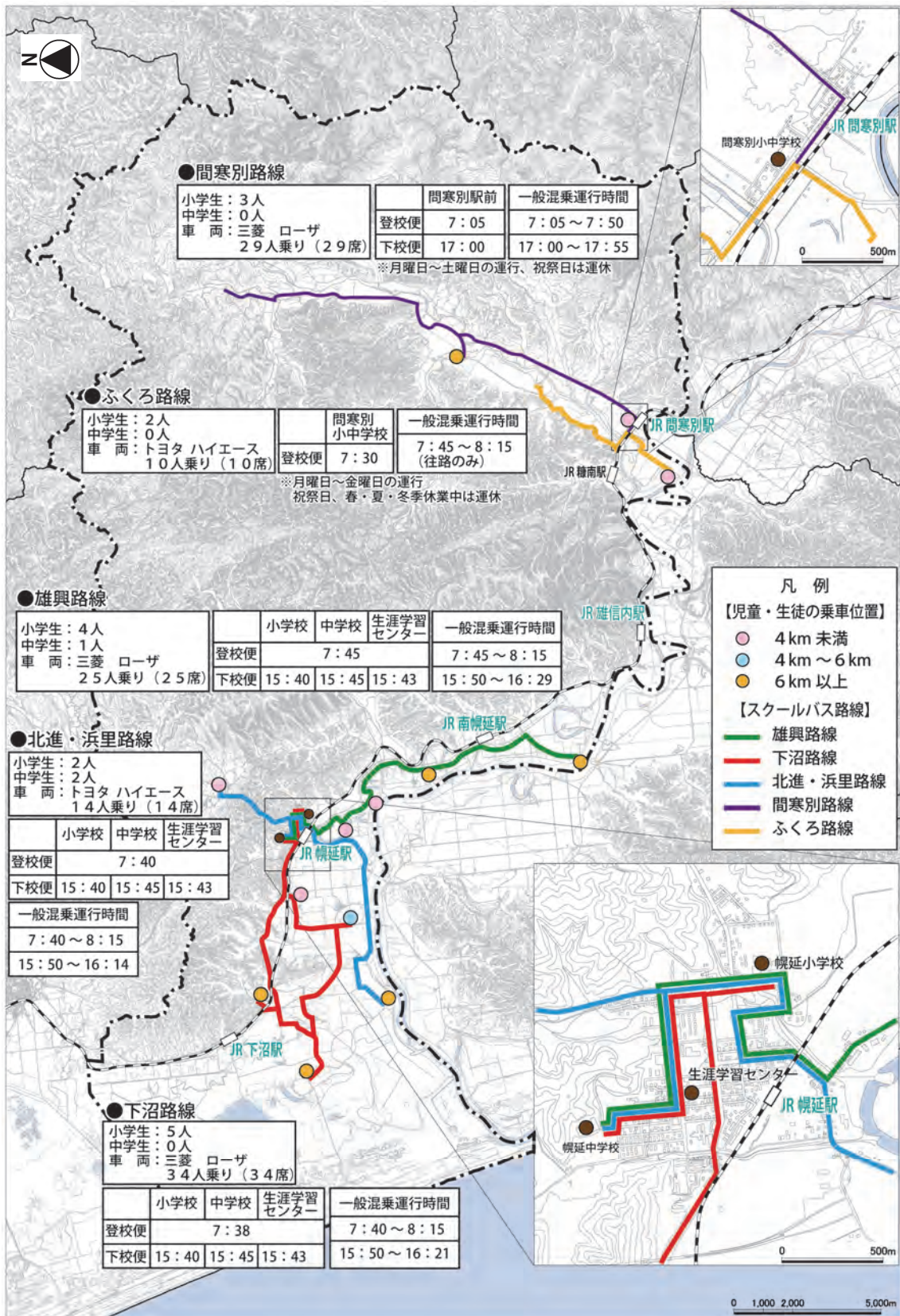


図 スクールバス運行図

資料：幌延町

(4)路線バス及び送迎交通等を維持するための費用

幌延町が負担している路線バス、町内送迎の費用を統括すると以下のとおりとなっています。

表 幌延町を運行する路線バス運行費用・運行収入の状況（令和4年度）

【路線バス】

上段:単位 千円、下段:構成比

種別	バス路線名	バス会社等	運行費用		運行収入				
			経常費用	経常収益	国・道補助金	他市町村負担額	幌延町負担額	事業者負担額	計
地域間 幹線系統	幌延留萌線	沿岸バス (株)	175,923	52,502	35,840	87,580	6,491	1	175,923
			1.00	0.30	0.20	0.50	0.04	0.00	1.00
	小計		175,923	52,502	35,840	87,580	6,491	1	175,923
			1.00	0.30	0.20	0.50	0.04	0.00	1.00
市町村単 独補助路 線	豊富羽幌線	沿岸バス (株)	19,785	5,894	0	13,890	1,920	1	19,785
			1.00	0.30	0.00	0.70	0.10	0.00	1.00
	豊富幌延線		11,471	2,782	0	8,689	3,284	0	11,471
			1.00	0.24	0.00	0.76	0.29	0.00	1.00
	小計		31,256	8,676	0	22,579	5,204	1	31,256
			1.00	0.28	0.00	0.72	0.17	0.00	1.00
合計			207,179	61,178	35,840	110,159	11,695	2	207,179
			1.00	0.30	0.17	0.53	0.06	0.00	1.00

【町内送迎サービス】

上段:単位 千円、下段:構成比

種別	運行主体	運行費用		運行収入					
		経常費用	経常収益	交付金等	他市町村負担額	幌延町負担額	事業者負担額	計	
交通事業	スクールバス運行事業	幌延町	38,600	0	23,850	0	14,750	14,750	38,600
			1.00	0.00	0.62	0.00	0.38	0.00	1.00
	デマンド交通運行事業		823	0	0	0	823	823	823
			1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
	患者輸送バス運行事業		6,044	0	0	0	6,044	0	6,044
			1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
小計		45,467	0	23,850	0	21,617	15,573	45,467	
		1.00	0.00	0.52	0.00	0.48	0.00	1.00	
補助事業	ハイヤー利用助成事業	天塩ハイヤー	1,365	0	0	0	1,365	0	1,365
			1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
	小計		1,365	0	0	0	1,365	0	1,365
			1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00
合計			46,832	0	23,850	0	22,982	15,573	46,832
			1.00	0.00	0.51	0.00	0.49	0.00	1.00

【路線バス+町内送迎サービス】

上段:単位 千円、下段:構成比

項 目	運行費用		運行収入				
	経常費用	経常収益	交付金・補助金	他市町村負担額	幌延町負担額	事業者負担額	計
路線バス+町内送迎交通（含むハイヤー助成制度）	254,011	61,178	59,690	110,159	34,677	2	254,011
	1.00	0.24	0.23	0.43	0.14	0.00	1.00

資料：沿岸バス 幌延町